

2019年9月、消化器がん・乳癌の手術成績を更新しました

消化器がん・乳癌・甲状腺癌の手術成績

福井総合病院外科では情報公開の一環として、また“選ばれる病院”をめざし、消化器がん・乳癌・甲状腺癌等の手術成績を公開しています。今回更新した手術成績は、現在の診療体制が整った2000年4月より2019年3月までの19年間のものです。

がんの手術は元々あった臓器が切除される“機能喪失の手術”であり、言い換えれば機能喪失と引き替えに生命を得ることになります。したがって手術成績の評価においては、短期的成績よりも長期的成績がより重要になります。術後5年生存率を公開するとともに、手術の危険性を知っていただくため術後合併症もあえて開示しました。症例の追跡率は、いずれの疾患でも95%以上であり、信頼度が高いデータとなっています。

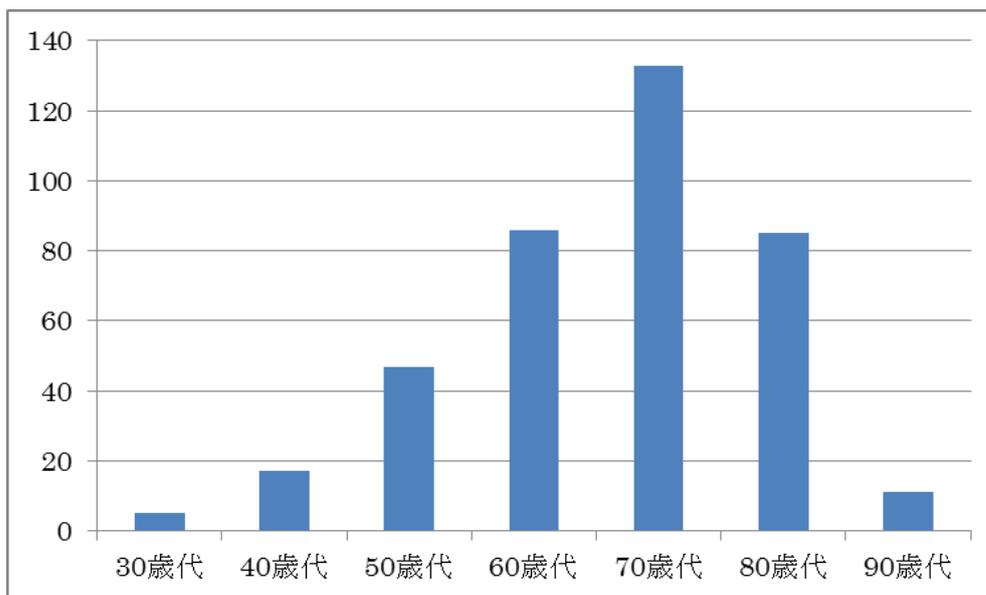
当院の特徴としては脳卒中後のリハビリ患者や老人介護施設からの紹介患者が多く高齢かつ高リスクな手術患者が多いことではありますが、全国的に一流といわれている病院と比較しても遜色ない成績と自負しております。

※がんの進行度は取扱い規約に基づき判定し、累積生存率はKaplan-Meier法にて算出しました。

手術成績には切除不可能であった症例も含み、手術関連死は原病死として、他病死はその時点での打ち切り生存として算出しました。

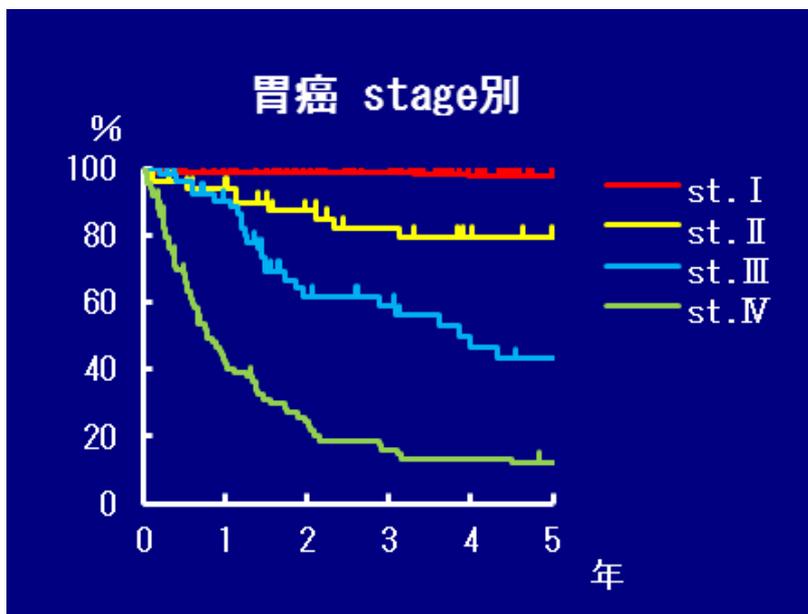
胃癌 (384 例)

年齢分布



平均年齢は 70.9 歳（最年少 32 歳，最高齢 96 歳）であり，70 歳以上の患者さまが 60% を占めています。

術後 5 年生存率（胃癌取扱い規約第 15 版に従った）



stage I (190 例)	: 5 年生存率	97.6%
stage II (54 例)	: 5 年生存率	79.4%
stage III (55 例)	: 5 年生存率	43.2%
stage IV (85 例)	: 5 年生存率	12.1%

(5 年以内の消息不明例 3 例，追跡率 99.1%)

※他院との比較は全国がんセンター協議会の成績をご参照ください

<http://www.zengankyo.ncc.go.jp/etc/seizonritsu/seizonritsu2010.html>

胃癌の手術合併症

◇手術関連死（手術合併症による死亡）：8例（2.1%）

うち5例が手術直接死亡（術後30日以内の死亡）であった。

◇局所合併症

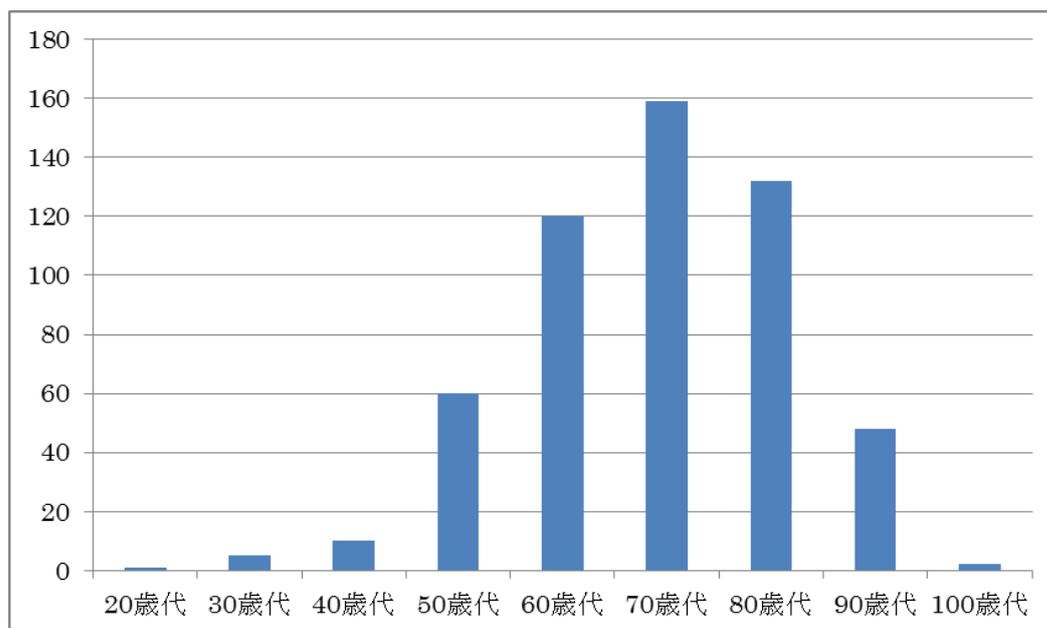
縫合不全：22例（5.7%） → 4例が多臓器不全を併発し死亡
腹腔内膿瘍：19例（4.9%）
吻合部狭窄：12例（3.1%）
在院中の腸閉塞：3例（0.8%） → 1例が開腹手術にて治癒
小腸梗塞：1例（0.3%） → 死亡
総肝動脈仮性動脈瘤破裂：1例（0.3%） → 死亡
門脈血栓症：1例（0.3%） → 開腹手術にて治癒
胆汁漏：1例（0.3%） → 開腹手術にて治癒 など

◇手術に起因する全身的合併症

肺炎・呼吸不全：14例（3.6%） → 1例が呼吸不全にて死亡
MRSA 腸炎・偽膜性腸炎：5例（1.3%）
肺塞栓症・深部静脈血栓症：2例（0.5%）
急性腎不全：2例（0.5%）
肝不全1例（0.3%） → 多臓器不全を併発し死亡
心筋梗塞：1例（0.3%）
脳梗塞：1例（0.3%） など

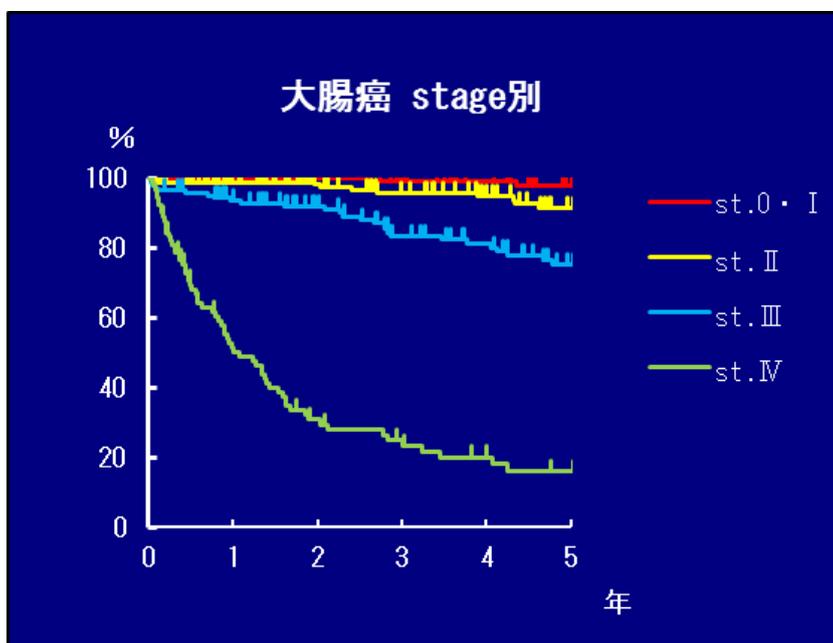
大腸癌 (537例)

年齢分布



平均年齢は 73.4 歳（最年少 29 歳，最高齢 102 歳）であり，70 歳以上の患者さまが 64% を占めています。

術後 5 年生存率 （大腸癌取扱い規約第 9 版に従った）



Stage 0・I (132例)	: 5年生存率	97.8%
Stage II (174例)	: 5年生存率	91.6%
Stage III (141例)	: 5年生存率	75.3%
Stage IV (90例)	: 5年生存率	16.0%

(5年以内の消息不明 14例，追跡率 97.4%)

※他院との比較は全国がんセンター協議会の成績をご参照ください

<http://http://www.zengankyo.ncc.go.jp/etc/seizonritsu/seizonritsu2010.html>

手術合併症

◇手術関連死（手術合併症による死亡）：10例（1.9%）

うち7例が手術直接死亡（術後30日以内の死亡）であった。

◇局所合併症

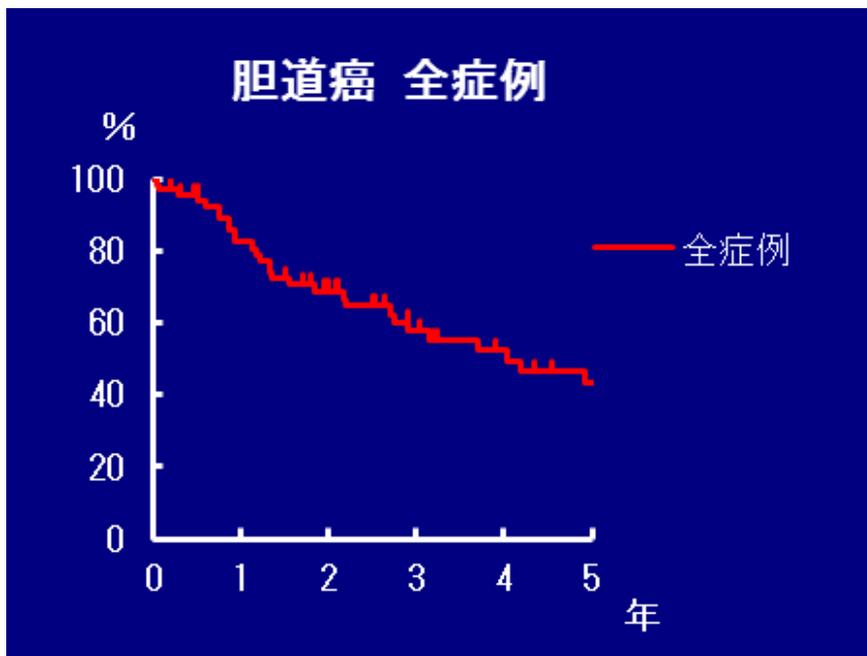
- 縫合不全：12例（2.5%） → 1例が開腹手術にて治癒
- 腹腔内膿瘍：12例（2.2%）
- 在院中の腸閉塞：9例（1.7%） → 2例が開腹手術にて治癒
- 乳糜腹水：6例（1.1%）
- 急性胆嚢炎：4例（0.7%） → 1例が開腹手術にて治癒
- 吻合部狭窄：4例（0.7%）
- 吻合部出血：4例（0.7%）
- 腹壁癒痕ヘルニア嵌頓：1例（0.2%） → 開腹手術にて治癒 など

◇手術に起因する全身的合併症

- 肺炎・呼吸不全：9例（1.7%）
 - 1例が術後12病日に重症の誤嚥性肺炎にて死亡
 - 1例が術後19病日に突然の意識障害・呼吸不全にて死亡
 - 1例が術後42病日にMRSA肺炎にて死亡
 - 1例が腸閉塞・肺炎で緊急手術，肺炎改善せず術後34病日に死亡
- MRSA腸炎・偽膜性腸炎：6例（1.1%）
- 脳梗塞：3例（0.6%）
 - 1例が術後14病日に脳幹・小脳梗塞にて死亡
- 敗血症・多臓器不全：3例（0.6%）
 - 2例が腹膜炎で緊急手術，術後14日・16日に多臓器不全にて死亡
- 出血性胃十二指腸潰瘍：3例（0.6%）
 - うち1例が術後10病日に出血性ショックにて死亡
- 深部静脈血栓症：3例（0.6%）
- 十二指腸潰瘍穿孔：1例（0.2%）
 - 1例が術後26病日に十二指腸潰瘍穿孔，DICにて死亡
- 心筋梗塞：1例（0.2%）
 - 術後31日に心筋梗塞にて死亡 など

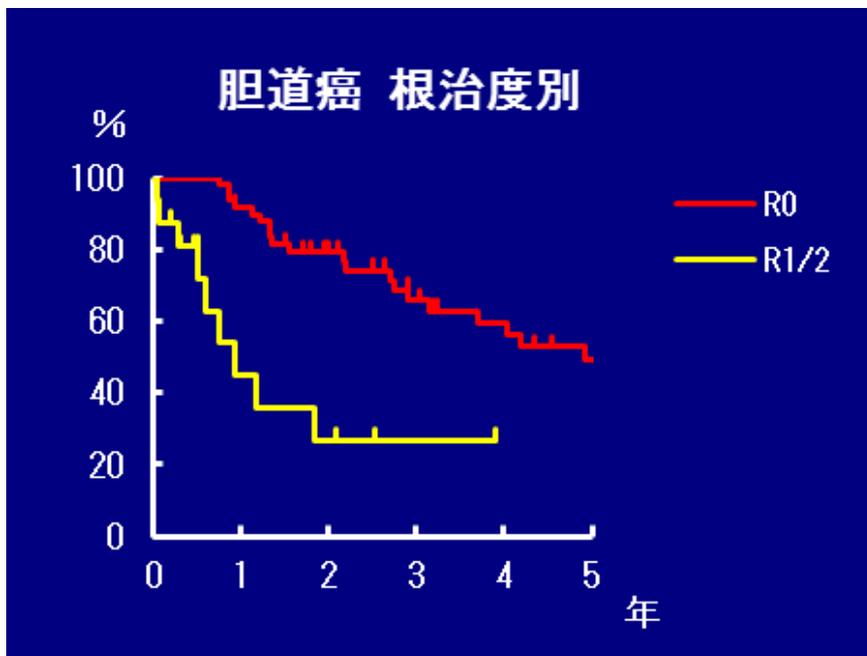
胆道癌 (66例)

疾患の内訳：胆嚢癌 36例，胆管癌 19例，乳頭部癌 11例
全症例での術後5年生存率 (胆道癌取扱い規約第6版に従った)



3年生存率 57.6%，5年生存率 43.2%

根治度別の術後5年生存率



R0 (癌の遺残がない手術, 50例) : 5年生存率 49.2%
R1/2 (癌の遺残がある手術, 16例) : 3年生存率 26.9%

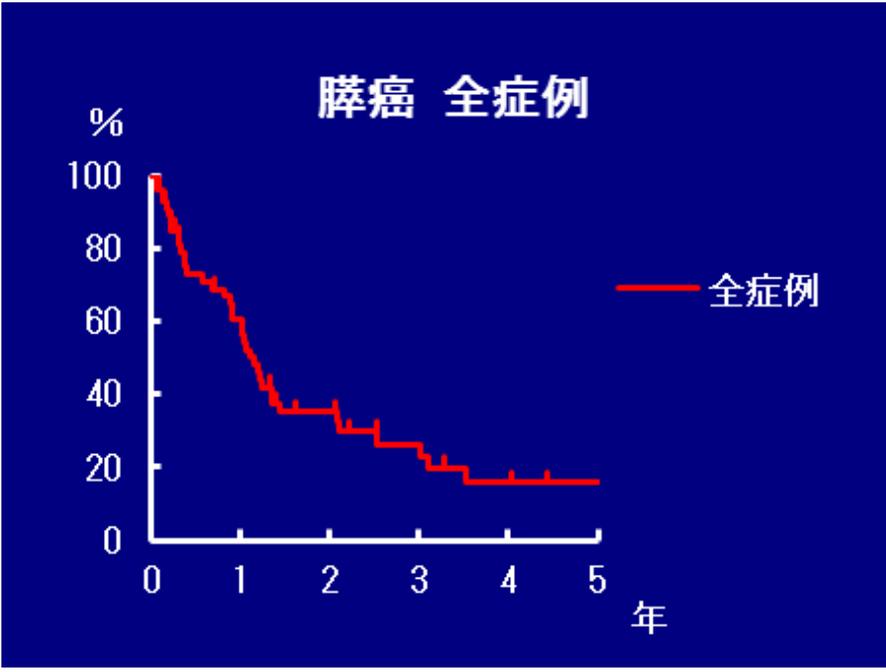
(5年以内の消息不明 1例, 追跡率 98.5%)

手術合併症

手術関連死 (手術合併症による死亡) : 0例 (0%)

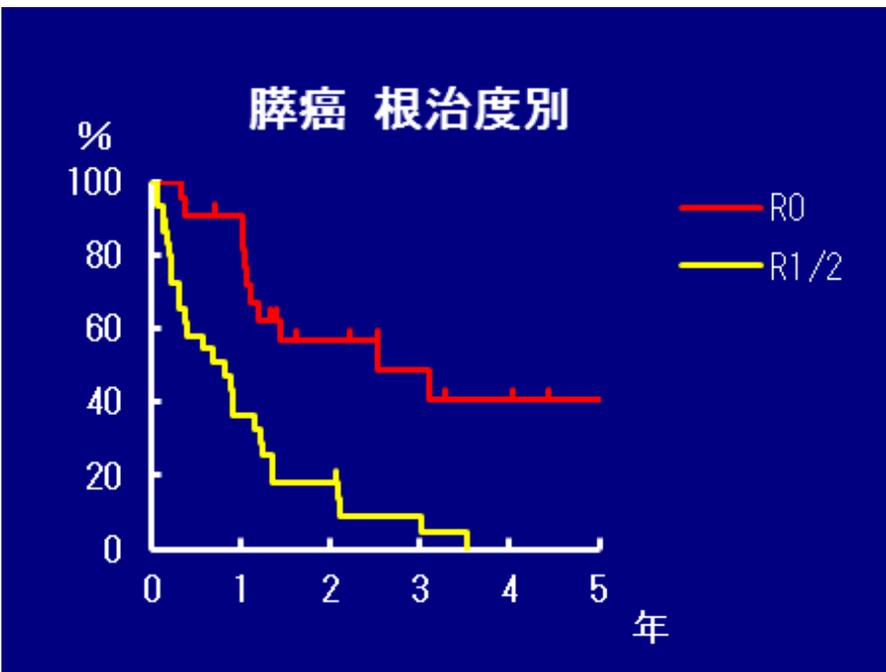
膵癌 (55例)

全症例での術後5年生存率 (膵癌取扱い規約第7版に従った)



3年生存率 26.5%, 5年生存率 15.8%

癌遺残度別の術後5年生存率



R0 (癌の遺残がない手術, 25例) : 5年生存率 40.4%
R1/2 (癌の遺残がある手術, 30例) : 3年生存率 9.1%

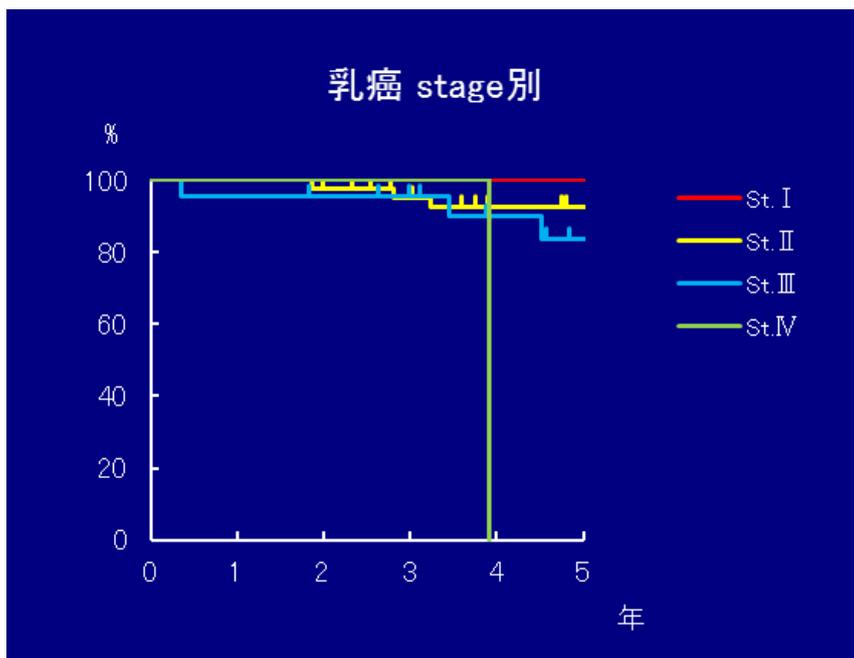
(5年以内の消息不明 2例, 追跡率 96.4%)

手術合併症

手術関連死 (手術合併症による死亡) : 0例 (0%)

乳癌 (167例)

術後5年生存率 (乳癌取扱い規約第18版に従った)

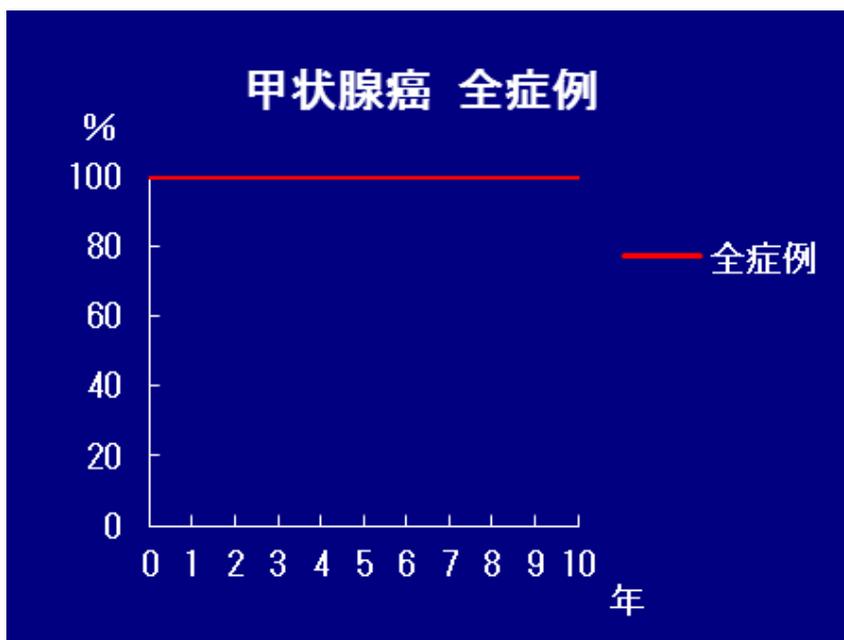


Stage 0・I (72例)	: 5年生存率	100%
Stage II (61例)	: 5年生存率	93.7%
Stage III (28例)	: 5年生存率	85.3%
Stage IV (6例)	: 5年生存率	0%

(5年以内の消息不明 5例, 追跡率 97.0%)

甲状腺癌 (44例)

術後10年生存率 (甲状腺癌取扱い規約第7版に従った)



5年生存率	100%	, 10年生存率	100%
-------	------	----------	------

(5年以内の消息不明 0例, 追跡率 100%)

手術成績のまとめ

◇術後の長期成績（5年生存率）

症例数がやや少なく成績にばらつきを認めますが、胃癌・大腸癌・胆道癌・膵癌・乳癌・甲状腺癌ともに、良好な成績でありました。

◇手術合併症

胃癌・大腸癌においては、高齢者の進行癌の占める割合が多いこと、および進行癌に対する積極的な拡大手術を反映して、手術死亡率・縫合不全発生率がやや高い傾向を認めました。

当科ではより専門性が要求される一部の症例については、専門施設に紹介させていただいております。担当医にご相談ください。